



# 十五夜会

じゅうごやえ



旧暦 8月15日、農作物の豊作を喜び  
祈るため、また無病息災を願って、十五夜に  
まつわる年中行事を、にぬふあ保育園でも行いたい  
と思い計画してみました！

9月13日(月) (旧 8月7日)

ひろみさんのおシバサシを園に拝借してくれまし。

※シバサシ… ススキと桑の木を使って作った魔除けのお守り。

🏠 七人かいらの子を中心に、散歩等でススキや桑がはいりかたへ  
と探りに行きます。(にぬふあ保育園でもシバサシを作ります。)

9月16日(木) (旧 8月10日)

ひろみさん筆頭に屋敷又御願を行い、園の四隅に  
シバサシを置き、魔除けのウートーをします。

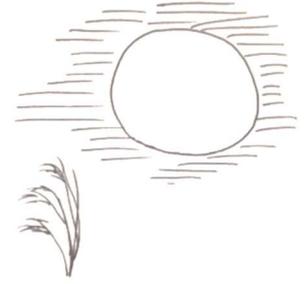
9月21日(火) (旧 8月15日)

七人かいらを中心に保育園の中で「お月様」作りをします。  
それとお月様にお返しをして、午後15:30ごろから  
十五夜会をしたいと思います。(詳細は、別紙参照。)



# 十五夜会

当日



★ 9月21日(火) (旧 8月15日)

★ 時間 15:30～ 2Fにて。

★ 内容

- ・ お話 「天から降るもち」 (諒子)
- ・ うた … 月にまつわるうた ( )
- ・ フなひき わらわうた (七人かいら、やうこ?)
- ・ 午前には作った「フナヒキ」をお月様に  
お供えて、少し食べさせてもらう。  
お月様、いただきます。

七人かいらを中心に、1Fの小さいお友達も、  
2Fとんぼお一人さんも、みんなで十五夜のお月様に  
思いを馬場せねから、(にぬふあらしい十五夜会が  
できたらいいなーと考えています。

## 十五夜に想いをよせて・・・

私達人間は元々自然の一部です。  
自然の中で自然と共に生きてきました。

自然から恵みをいただき、また自然から喜びを感じ・・・

けれども時に猛威を振るう自然・・・日照りや嵐・・・  
地域や季節によって色々な顔を出す自然。

私達が生きている世の中には人間の力の及ばないものがあります。

それでも自然無くしては生きていけない私達人間です。

人々は自然に対して祈り、願ってきました。  
自然や人や物に対する畏敬の念は、謙虚さを育てます。

十五夜も、そんな大事な機会（チャンス）にしていきたいです。

その思いを継いでいかなければ、形だけが残る年中行事、イベント化した行事になってしまいます。（月見バーガーも恵方巻もおいしいからついつい買ってしまおう私もいますが・・・宣伝用のあの旗に違和感を覚えます）（100円ショップでは日本の伝統行事よりも早くもハロウィンが一番席に並び、これが終わるとすぐにクリスマス飾りに様変わりです・・・）

年中行事には無病息災の祈りも含まれています。  
昔昔の世の中も、得体の知れない流行り病に苦しめられた時代が度々あり、  
その都度人々は祈りの行事を繰り返してきました。  
今と重なります。

やはり、祈る・・・

便利で物や情報は豊かな時代に生きていますが、時間に追われありすぎる情報に振り回され混乱している世の中だと私個人は感じます。  
このような世の中で人間の都合、自分の都合、自己中心的な生き方に人間はなっているような気がするのです。

私達が生きている世の中には人間の力が及ばないものがある。  
自然に対して畏れ敬う祈りは、自然や人や物に対する謙虚さを育てます。  
混乱している時代・・・と書きましたが、  
それでも前を向いて、上を向いて生きています。  
私には、私達には役目がある。  
今を生きている意味がある。

屋敷の御願・・・シバサシ・・・十五夜・・・  
大事に伝えていきます。楽しみです。

(安里)

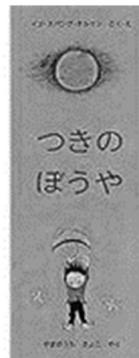
### 絵本の紹介



おつきさま こんばんは  
林 明子  
福音館書店



じゅうよんひきのおつきみ  
いわたら かずお  
童心社



つきの ぼうや  
イブ・スパンク・オルセン  
福音館書店

### 月にまつわる歌

- ・月ぬ美しゃ
- ・アットーメー
- ・アカナー
- ・お月様えらいな

他